

事務事業名	地域公民館建設・増改築支援事業			担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-7151		
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市地域公民館建設事業補助金交付要綱				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和49 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	3. 公民館費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	・地域公民館を新築又は増改築する場合、事業に要した経費の100分の35以内を補助するものである。 ・該当事業は10万円以上の事業・補助金の限度額は200万円 ～真岡市地域公民館建設事業補助金交付要綱（交付の目的及び交付対象）～ 社会教育の振興を図るため、地域公民館建設事業に要する経費に対し、予算の範囲内により次の事業に補助金を交付する。 (1) 地域公民館を建設（改築・増築を含む。）する場合。 (2) 現に所有する地域公民館を補助する事業で当該事業に要する経費が10万円以上の場合。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 23年度実績 ・公民館長に配布する地域公民館長手帳に本件についての記載があり 該公民館は事業計画書、見積書、平面図等を添付して申請する。 ・平成23年度補助件数32件 震災復旧のため、2度補正予算で対応した。 24年度計画 新築3館、増改築2館を予定	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称								
	ア	補助申請件数	件	6	8	10	32	5	
	イ	補助金額	千円	1,218	4,497	5,914	10,423	10,000	
	ウ								
エ									
オ									
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 地域公民館	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称								
	ア	地域公民館数	館	108	166	166	166	166	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地域公民館の快適な環境づくりを推進する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称								
	ア	補助を受けた公民館数/公民館数	%	5.6	4.8	6.0	19.2	3.0	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 地域公民館を整備し、快適な環境をつくることによって、地域公民館活動を活性化し住み良い地域づくりを推進する。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称								
	ア	充実した公民館活動をしている公民館数	館	35	43	53	85	95	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,218	4,497	5,914	10,423	0
	事業費計(A)			千円	1,218	4,497	5,914	10,423	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0	
		延べ業務時間	時間	48	48	48	48	0	
		人件費計(B)	千円	201	195	205	204	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,419	4,692	6,119	10,627	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・昭和49年頃、充実した公民館活動を図るため、地域公民館を新築・増改築する場合、地域の負担も多いので一部を市が補助した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・平成23年は、東日本震災で被災した地域公民館が多く、32館が補助対象となった。 ・地域公民館の数も増えており、建設費も高くなっている。 ・当初建設した公民館が改修・修理が必要な時期にきており、毎年5件から8件の改築・修繕の申請がある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・公民館を新築する場合、面積が大きくなってきており、建設費も高くなっているため補助金の限度額を増やして欲しいとの要望はある。 ・以前市議会から、公民館の規模によって補助金の額を変更してはどうかという意見もあった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域公民館の環境を整備することによって、公民館事業がしやすくなり地域の活性化に繋がる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域の負担軽減を図り、公民館の活性化を図るため、市の支援は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 地域公民館の建設を支援することは、公民館の快適な環境づくりに繋がり適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 費用の補助により整備が行われている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域負担が多くなり、公民館の新築・増改築は進まなくなり、環境整備できず公民館活動が低下するおそれがある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 地域負担もあり、適性な事業費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付関係事務だけなので、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内全域を対象としており、補助基準により適正に執行しているので公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							